

## 平成6年度 第1回視察研修会実施

—宇宙空間スペースワールドとロボットがロボットを造る工場—

本年度第1回県外視察旅行は、県ソフト協会会員18名が参加して、9月14日北九州市八幡東区枝光のスペースワールドと、同西区黒崎の㈱安川電機を見学視察、終日いい勉強になった。

午前7時30分、大分交通貸切バスで、大分駅前を出発、幸い天気は上々だし爽やかな秋風に送られ、約3時間で北九州に到着した。

宇宙産業で注目されるスペースワールドは新日鐵が八幡製鉄所工場跡地を利用、第三セクター方式の、アメリカ式遊園地として見事に活用、我々は特に設備の裏方を見学して、新知識を得ることができた。

午後は安川電機を訪れ、同社自慢の産業ロボット製造工場を見学した。九州地場産業80年の歴史を誇るだけに、電機からロボット製造新技術に転換した同社の、将来はすばらしいものがあると感心した。

いずれも時代の先端に行く新しい企業の技術とありかたをみて、我々も何を目標に勉強し努力すべきか、大いに考えさせられるものがあった。

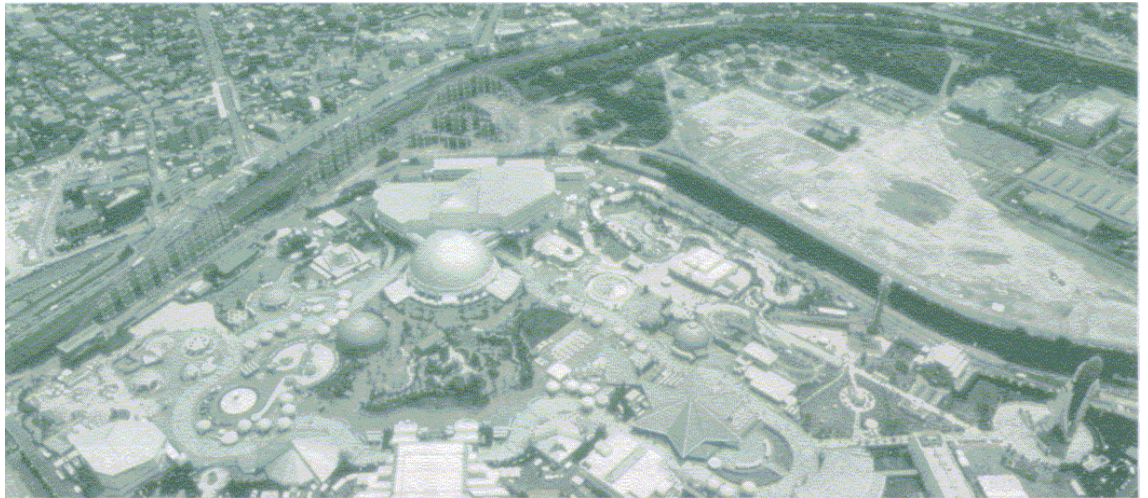
大分県ソフトウェア協会長 御手洗 克己

### スペースワールド(北九州市八幡東区)

”Count Down 10, 9, 8, ……2, 1, 0 Launch”

スペースシャトルに乗り込んだ向井千秋さんが日本人女性として初めて大気圏外に向けて出発した。ロマンをずっと追いかけてきた彼女にとって夢と現実が融合する一瞬だったにちがいません。これに似た感覚を私達一般人が味わえる場所がスペースワールドです。特にワールド内のスペースキャンプの施設はまるごとバーチャルリアリティそのものの。

他のアトラクションについても、2重3重の安全システム、SMBTE方式を採用した映



スペースワールド全景(敷地10万坪)

像/音響/乗物を連動させた仕組みと、障害対応システムについては実に驚きました。今回初めて部外者の人を通すと云われたメンテナンス用通路を通り、総重量30tのスペースコチの動きを見せて頂きました。

音響効果、映像もないにもかかわらず、裏から見た30tの物体の動きに宇宙の乗物をイメージしたのは私だけでしょうか？

今後、再び一般入場者として訪れることを楽しみにしています。

(TNBソフトウェア㈱ 佐藤 誠樹)

### ㈱安川電機(北九州市八幡西区)

安川電機は、1970年に世界に先駆けて、電動式産業ロボットの開発に成功して以来、自社製品「モートマン」で、産業用ロボットの国際的トップメーカーとして、世界最大の実績を誇っています。

視察を行った「モートマンセンタ」はコンピュータとロボットが、ロボットを造る工場であり、ここでは受注、生産計画、資材の購入、生産管理、製造、出荷、売上管理といった一連の業務をコンピュータで統合管理する

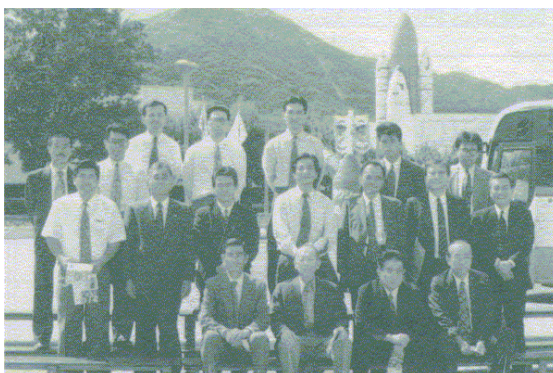
新しい企業形態、即ちコンピュータ統合マネジメントシステムであるCIM化ロボット生産システムを構築しています。

また、併設のショールーム「ロボットプラザ」の見学で、これまでの製造業対象の産業用ロボットから、病院などの非製造業分野、更にはホームロボットへとロボットの未来はますます広がっており、コンピュータの応用分野の広さや、システム構築技術の深さを実感させられました。

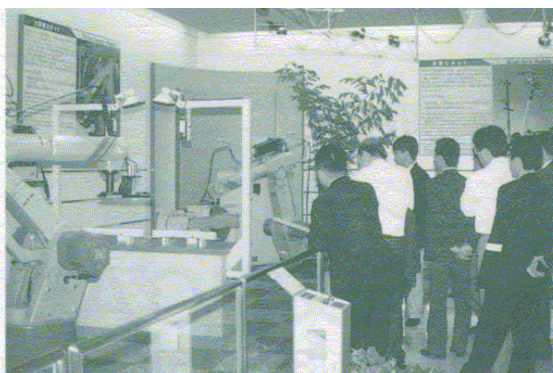
(大分交通㈱ 上杉 浩二)

### おわりに

今回は、北九州市のスペースワールドを支える機構と安川電機のロボット工場を視察しましたが、思った以上の成果があり、楽しい研修でした。これからも1人でも多くの会員に参加していただけるよう、研修内容の多彩さと充実を求めて努力します。若い多数の会員—特に女性の方々が参加しやすい、魅力あるプランやヒントを事務局まで提案してください。(副会長 田中 莞爾)



スペースワールド ディスカバリー号を背景に



安川電機ロボットプラザ 産業ロボットの实演



ロボットプラザのロボットによる獅子舞



## 当協会の在り方等についての見直し活動始まる

大分県ソフトウェア協会が創立されて5年経過したことであり、今一度、協会の在り方等について見直す必要があるとして、この見直しが平成6年度の協会活動方針のひとつにかかげられました。

これをうけて、「活性化チーム」と「組織チーム」が編成されました。両チームには、会員の意見を入れた活動がなされるように、それぞれ各委員会から1名は参加することとし、これに理事、事務局長も入って1チーム8名～9名で現在活動中です。

今年度中に検討結果を答申することになっていますが、ここに両チームに活動状況を中間報告してもらいました。(協会事務局)

### 活性化チーム

「活性化チーム」のテーマは、(a). ソフトウェア業界に対する行政上の各種助成制度の内容を会員に紹介する、(b). 行政部門、諸団体への働きかけ、の2点にあります。直ちにできることから、(a)項の『各種助成制度の紹介』に取り組むことになりました。

作業スケジュール

関連情報収集と整理……………9月末まで

会員向けの制度紹介……………10月より

と計画し、一同多忙な日業務の中を懸命に頑

張っているところです。

各人(あるいは小人数に分けたグループ)が分担して調査・整理した結果を持ち寄り、全体討議で整理する形をとっております。

関連する制度をうまく一つに集約した適切な参考資料が揃っていないため、手分けして数多くの関係官庁や団体等を訪ね、個別に情報や参考資料を入手しながら、漸く調査を終え、紹介資料のまとめがほぼ出来上がる段階となりました。10月中旬に、諸制度の内容を

### 〈ソフトウェア産業に関連する助成措置〉

税制措置	①中小企業新技術体投資促進税制 ②中小企業基盤強化税制 ③中小企業新分野進出等円滑化税制 ④中小企業機械投資促進税制	⑤汎用プログラム開発準備金制度 ⑥統合システム保守準備金制度 ⑦データベース構築準備金制度
融資制度	①中小企業体質強化資金 ②中小企業経営改善資金 ③新技術等研究開発資金 ④先端技術等導入企業化促進資金	⑤大分県中小企業設備近代化資金 ⑥国民金融公庫の各融資制度 ⑦中小企業金融公庫の各融資制度 ⑧中小企業高度化資金
他の助成	①特定プログラム委託開発制度 ②情報処理振興債務保証制度 ③プログラム信用保険制度 ④債務保証制度	⑤システムインテグレーション登録認定制度 ⑥電算システム安全対策実施事業所認定 ⑦特定企業の新分野進出円滑化措置

(注) 融資制度は大分県・政府によるものを掲載。他に各市毎にも融資制度がある。

### 組織チーム

「組織チーム」のテーマは、法人化の是非と委員会の再編成の二つあり、まず法人化の是非について、その検討結果を踏まえて委員会再編成の問題を、という二段階で進めております。皆熱心でこれまでに6回会議をしました。

#### 〈法人化の是非についての基礎調査〉

- ①全国の調査対象団体調べ；協同組合を除き40団体をリストアップ。
- ②県地域経済情報センターに類する全国の機関調べ；大分県に特殊性があるか。
- ③アンケート調査；団体の属性に始まり法人化に関する諸質問、事業活動、補助金導入状況等25項目を調査票にまとめて送付。

#### 〈アンケート回答ほか収集資料の整理分析〉

- ①アンケートの回答状況  
40団体に出席し、34団体(85%)を回収しました。  
34団体中、社団法人設立済18団体、同設立予定4団体、任意団体12団体です。
- ②目下分担して作業中の検討項目  
・社団法人化の目的、メリット、デメリット。  
・社団法人の認可条件と予算の構成。  
現段階では公益法人としての予算規模が、

1000万円以上という認可基準があるらしいこと、収入予算は一般に会費収入、事業収入、補助金収入から構成されること、補助金は特定の事業につき一部が対象になる程度などが判明しました。

- ・補助金の対象になる事業の内容、県地域経済情報センターとの棲み分けの可能性。
- ・予算の中心となる事業収入の内容。
- ・事業収入を安定的に確保するための組織や活動内容、また受益者負担の条件など。
- ・専任職員を必要とする事務量になるが、その場合のコストと効果、問題点など。

〈今後の予定〉

組織チームの活動は、必ずしも法人化することを前提としたものではなく、当協会の好ましい組織形態はどうあるべきかを見直そうというものです。

これらの問題点を検討整理した上で、11月中旬を目途に協会長あて答申を行い、会員の総意をもって方向を決定することになります。

また第二テーマである「委員会の再編成」についての検討は、法人化の是非、事業内容、事業推進体制と深く関わる問題ですので、第一テーマ整理後に行うことにしたものです。(文責 理事 後藤昌弘)

### 両チームのメンバー

#### 活性化チーム

氏名	担当	所属
梶原 景末		啓発交流委員
佐藤 誠樹		視察研修委員長
清水 太		展示推進委員
神代 重弘		技術交流委員
中西 憲一		広報人材委員長
藤田 勝久	事務局	技術交流担当理事
小野 敬一	リーダー	展示推進担当理事
大場善次郎		啓発交流担当理事
後藤 与一		協会事務局長

#### 組織チーム

氏名	担当	所属
矢崎 元春		啓発交流副委員長
亀井 秀郎		視察研修副委員長
仲野 賢二		展示推進委員
池田 治郎	サブリーダー	技術交流委員長
首藤 学		広報人材委員
田中 亮爾		副会長、視察研修担当
後藤 昌弘	リーダー	広報人材担当理事
後藤 与一		協会事務局長

NEC 日本電気株式会社販売取扱店

オフィスコンピュータ・パソコン  
ワープロ・ファクシミリ・電話  
無線等OA機器販売・ソフト開発

大分交通OAシステム販売部

TEL (0975) 32-5151 (代表) 夜間直通 36-5145 FAX (0975) 37-2964



# 全国情報化月間の当協会行事ご案内

今年は、恒例のソフトピアはありませんが、情報化月間に因んだ、大分県ソフトウェア協会行事を行います。多数の皆様のご参加を期待します。

## 🎵 サウンズ・コンテスト 🎵 On The Computer

コンピュータを使って作曲したり、編曲した作品を公募して、コンクールを行います。皆さんが仕事の合間に、また趣味として、日頃パソコンの音源やシンセサイザを使って表現した様々な音楽で応募できます。また立派な曲がたくさん集まる見込みですので、皆様お揃いで聴きにおいで下さい。

### サウンズ・コンテスト開催案内

応募作品の発表会と優秀作品の表彰式を行います。

1. 日時 10月22日(土) 11:00~16:00
2. 場所 明野アクロス内マルチプラザ (トキハインダストリー内)

会場の皆様にもラッキーくじの抽選があります。

今回の特徴は、いくつかありますがその一つをご紹介します。初回から絶大なご協力を頂いております(株)エフエム大分様と共同主催とし、企画段階より共同作業を進めており、特にラジオで県下に広く呼びかけて頂いております。おかげさまで問い合わせも多くまわっており、当日の盛況ぶりが楽しみです。

### コンピュータ相談コーナー案内

不況風を吹きとばしたいソフトウェア協会会員企業が、事業内容のPRをかねて、ご来場者やお得意先に対して、コンピュータご相談コーナーを開設します。主な内容はシステムやハードの展示、専門学校による進路相談などです。

お問合せ先 大分市下郡工業団地北入口  
ゴードービジネスマシン(株)内  
ソフト協展示推進委員会事務局  
TEL 68-4600



作品募集のラジオ放送をしてくださった、エフエム大分のリンダさん

### 第6回OSA技術交流会

日時 10月31日(月) 13:00~17:00  
(受付開始12:30~)

会場 富士通大システムラボラトリ  
(大分市東春日町ソフトパーク内)

1. ご挨拶 会長、来賓、委員長
2. 基調講演 進化するネットワーク

ービジネスにおけるインターネット利用についてー

講師 (財)ハイパーネットワーク社会研究所  
研究企画部 会津 泉 部長

### 3. 事例発表

- ①「バーコードシステム導入による物流改善」  
発表者 神代 重弘 取締役事業本部長  
(サンキュウコンピュータサービス西日本(株))
- ②「ユーザーインターフェースの向上」  
発表者 佐田 幸己 副主席  
(株)昭和電工コンピュータサービス)
- ③「ビジュアル・コミュニケーション・システム」  
発表者 古賀 士裕 課長  
(株)日出ハイテック技術2部情報技術課)

### 電子情報通信学会主催の 専門講習会開催

電子情報通信学会では大分市で「バーチャル・リアリティとコンピュータグラフィック」に関する専門講習会を企画・準備中です。

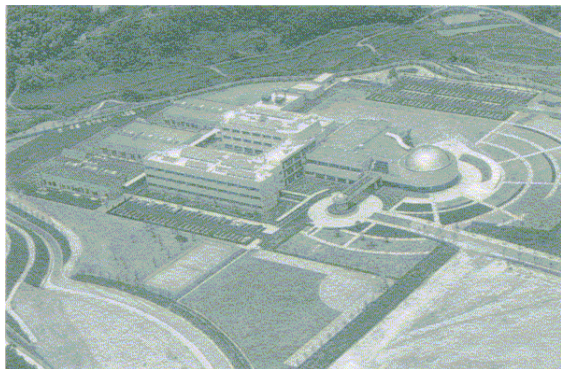
県ソフト協も共催で開催しますので、当協会会員の皆さまのご参加をお願いします。

なお、当ソフト協の顧問をされている宇津宮大分大学工学部教授が、この企画をお世話されています。日時等は次のとおりです。

日時 平成6年11月25日(金)  
9:00~17:00

場所 大分第2ソフィアプラザビル  
(大分市東春日町ソフトパーク内)

問合せ先 大分大学工学部  
知能情報システム工学科事務室  
TEL 69-3311 内線659  
(事務局長 後藤与一)



### 大分県産業科学技術センター 見学会報告

去る8月30日午後1時半より、大分県産業科学技術センターの見学会を行いました。

この見学会は啓発交流委員会と技術交流委員会が共同で企画したものであり、当日は約70名の会員が参加しました。

このセンターは県工業試験場、別府日田両

産業工芸試験所の組織を統合再編し、企業の新分野への進出や技術高度化への企業努力を総合的に支援する中核的な施設として発足し、主な事業内容は次のとおりとなっています。

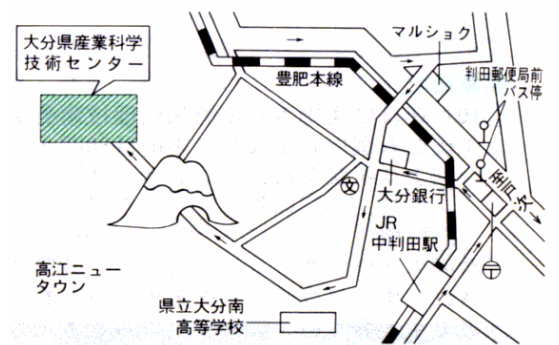
#### 業務概要

1. 研究業務
2. 技術振興業務
3. 依頼試験業務
4. 試験者養成業務
5. 技術指導業務

このような統合された施設は他県にはなく、大分県が最初の試みと聞いています。

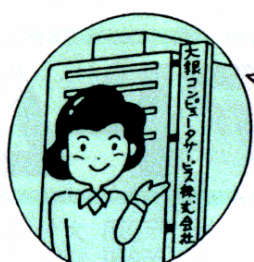
ハイテク技術を駆使した素晴らしく恵まれた環境の中で、地場の企業が同センターの機能を活用することによって、更には、地域の発展にも繋がっていくのではないかと期待が持てました。

技術と情報の発信基地を目指して大分県産業科学技術センターが発展する事を願います。  
(技術交流委員会・啓発交流委員会)



### DCSワイドネットサービスの **おすすめ**

全国のどの金融機関・郵便局からでも口座振替による集金ができます。



集金業務で  
お悩みのみなさまに  
大好評で〜。

お陰様で  
平成6年8月末現在  
ご契約先381社  
月中取扱件数  
41,437件と多数の  
ご利用を頂いています。

大分銀行グループ  
**大銀コンピュータサービス株式会社**  
〒870  
大分市城崎町2丁目6番31号 (大分銀行第2事務センター内)  
☎(0975)37-5918(代) FAX(0975)34-4545



**県庁新庁舎のネットワークセンター  
見学会報告**

啓発交流委員会では、9月22日に県下の情報化の実際に触れるべく下記の見学会を企画実施した。情報ネットワークの構築状況は予想以上に進展しており、その活用効果も高いレベルにあることが如実に体験でき、有益な見学会であった。参加者約30名。

**1) 大分県高度情報ネットワーク**

このネットワークは本来県下の防災通信システムの老朽化に対応し構想され、67億円の工費で平成5年に完成したとのことである。気象観測拠点、ダム、消防局はもとより県、市町村等の各行政機関140カ所+移動情報発信局140をカバーしている。さらに各箇所へのネットワークは地上線、衛星通信を併用し情報断絶の事態に備え3回線とし電話、ファクシミリ、映像による伝達手段としている。これらの設備は平常時は行政にも活用されるのは勿論、住民への各種サービスにも利用され

ている。近頃言及されることの多いマルチメディア化時代の基盤的部分は、既に官庁主体で実現しつつある実態を強く認識させられた。

**2) 県警交通指令センター**

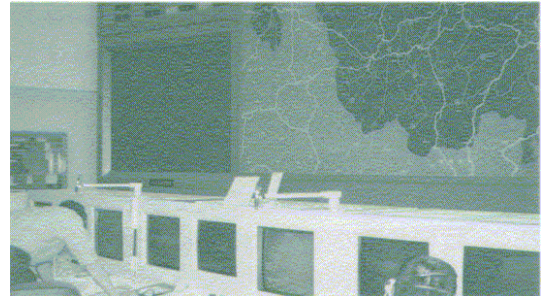
指令センター内に入り先ずドギモを抜かれるのは、縦横5mを越す壁面一杯に広がる県下の道路地図である。地図には出動パトカーのNO、所在地が表示され、パトカーの通信が受信されている。正に第一線現場の雰囲気である。パトカーの出動要請は500回/日前後とのこと。また道路地図横の大画面テレビに出動場所の詳細な地図が表示される。

市街地区域表示から個人の家周辺の道路状況まで3分程度で検索されズームアップし表示される。指令センター要員は5人×3交替。各人が把握した状況データも大画面テレビに表示、内容の共通認識の下に各方面への指示が同時に行われる。多数の人間が係わる情報システムの一典型なのであろう。

(啓発交流委員会)



高度情報ネットワークシステムの通信統制室



交通指令センター大道路地図に直面し作業中

**東京より感謝をこめて**

**前副会長 西村武門**

拝啓 今年が気象台創立以来の暑い夏になりましたが皆さん、如何お過ごしでしょうか。

5月中旬に急遽、東京で全社のプロジェクトを担当することになり、皆さんへの御挨拶もままならず、上京する事となり、誠に申し訳なく思っております。

大分県ソフトウェア協会の新時代を築くべき時に、途中で離れることは、残念でもあり、申し訳ない思いでおります。

25年間にわたる大分の生活、ソフト協会での皆様との出会いと語り合い、そして大勢の会員との数々の楽しい思い出、名残り尽きぬ思い出と後ろ髪を引かれる気持ちで一杯でした。

またいつの日にか、県ソフト協のその後の発展について皆さんのお話を伺う時があることを楽しみにしております。

今後の貴協会のご発展を心からお祈り申し上げ、お礼と辞任の挨拶に替えさせていただきます。

本当に有り難うございました。

敬具

なお、後任副会長には、田中莞爾理事が就任されました。

**公開模試の参加状況**

この10月から改訂実施される通商産業省の情報処理技術者試験に先だち、当協会の九州電子計算機専門学校において、第二種とシステムアドミニストレータの公開模試が9月4日におこなわれました。

当協会企業からは、二種に36名、シスアドには28名の合計64名もの人が受験し、新試験制度への関心の深さが伺えます。

(広報人材委員会)

**県ソフトウェア協会会員募集**

会則改定により、ソフト開発を事業としない企業も加入できるようになりました。

会員拡大、組織充実のため新会員の加入を勧誘していただくようお願いします。

各委員会事務局に本紙のバックナンバーを置いていますので、勧誘時にご利用下さい。

入会は随時受け付けています。詳細は事務局にご照会下さい。

(協会事務局)

	入会金	年会費
正会員	10,000円	40,000円
賛助会員	10,000円	一口25,000円 (複数口を期待)

**理事選任の臨時総会開催**

当協会理事で副会長として活躍していただいた西村武門氏(新日鉄情報通信システム(株)取締役前大分支社長)が、社内の異動で東京本社へ転出し理事が欠員となったので、後任理事を選出するため、書面上の臨時総会が、さる8月4日に開かれた。

その結果、委任状出席33人と本人出席6人(理事)の計39人で総会は成立し、新日鉄情報通信システム(株)の大分支社長大場善次郎氏が満場一致で選任された。

**新理事紹介**

新日鉄情報通信システム(株)  
大分支社長 大場善次郎  
ご挨拶

政治・経済激動の時代。情報の果たす役割が益々増えています。この業界に参画できることは大きな喜びです。

会員相互の研鑽、新技術・新商品等の情報交換をする場としての協会活動に微力ながら尽したいと思っています。



略歴  
昭和19年生(福岡県)  
新日鉄広畑・本社・  
大分・名古屋で勤務、  
本年6月から現職、  
大分市上野丘在住

**編集後記**

○10月16日に実施される情報処理技術者試験から新試験制度にかわりまします。第二種の場合、午前・午後とも選択式となり、午前は80問が出題されます。また、システムアドミニストレータ試験が今回より新設され、エンドユーザーコンピューティングに関連した知識を問うものとなっています。なお、上記以外にシステムアナリスト、システム監査技術者、アプリケーションエンジニア(旧特種)、ネットワークスペシャリスト(旧オンライン)の各試験が行われます。

○今回のサウンズ・コンテストは、改装されたばかりのトキハイダストリー明野アクロスで開催されます。コンピュータ業界の不況を、参加者の元気なサウンドで吹き飛ばしていただきたいものです。多くの企業や学生のみなさんの参加を期待しています。(広報人材委員会)

1994. 10. 1発行

発行：大分県ソフトウェア協会

会長 御手洗克己

編集：広報人材委員会

事務局 大分市城崎町2-6-31

(大銀コンピュータサービス(株)内)

TEL(0975)37-5918 FAX(0975)34-4545

印刷：佐伯印刷株式会社

**東芝OA機器・イトーキビジネス製品**

理想のオフィスを追求し続ける

**アトムス事務器**

本社 〒870 大分市弁天2丁目4-36 ☎(0975)37-4531(代) FAX 36-5023  
福岡支店 〒810 福岡市中央区渡辺通2丁目4-8 ☎(092)725-7211 FAX 725-7233